

AFUUE2R 取扱説明書

組み立て方法

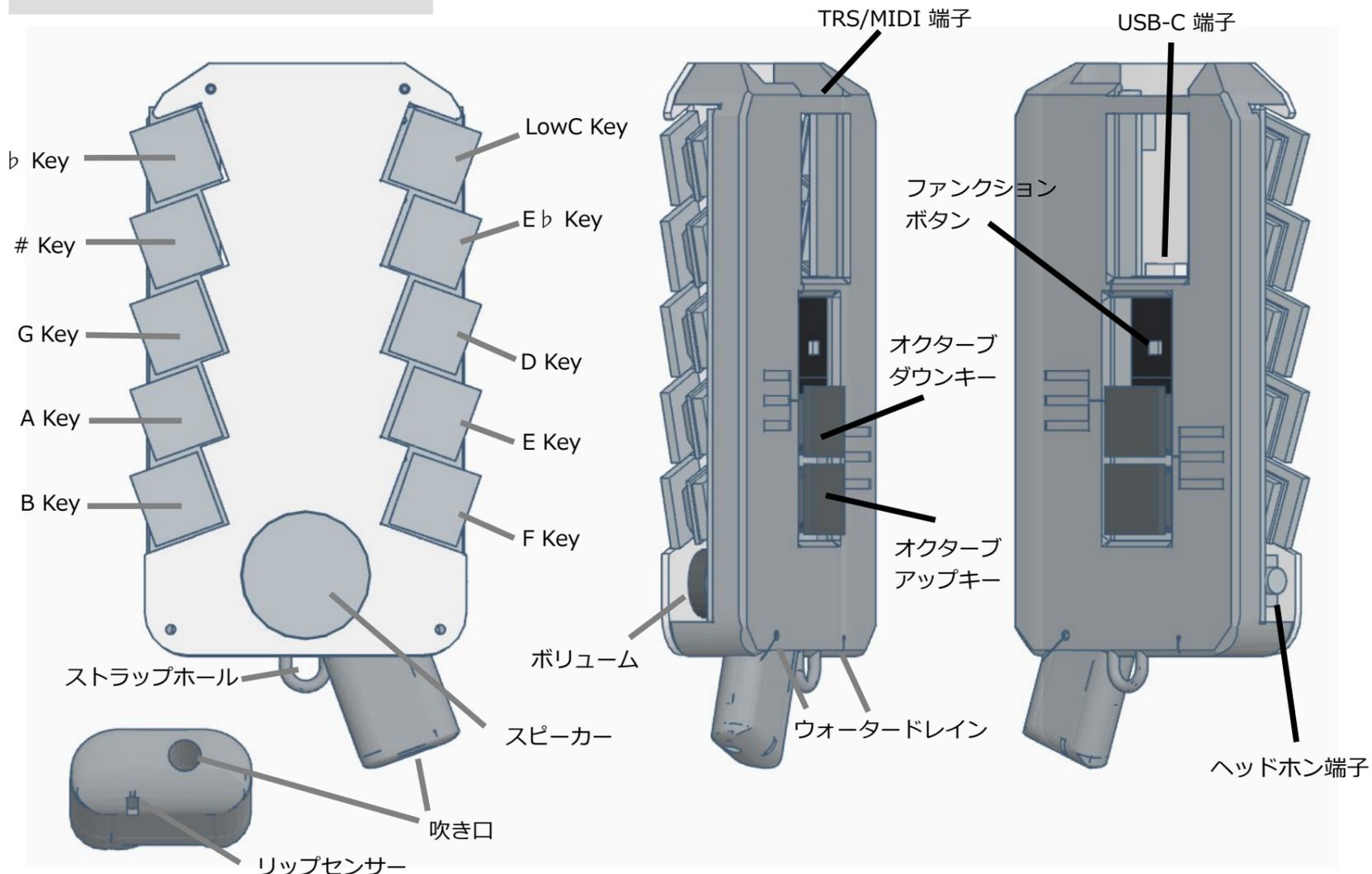
下のアドレスから組み立て動画を参考に組み立ててください。不明な点などありましたら連絡ください。

<https://youtu.be/zK0ZHJWwu7I>

(右の QR コードからもジャンプできます)



各部名称



運指表



使用方法

下のアドレスから動画をご覧ください。右のQRコードからもジャンプできます。

<https://youtu.be/5DcaISYnv5I>

ACアダプタやモバイルバッテリー等と AFUUE2R をUSB-Cケーブルで接続するだけで演奏ができる状態になります。ボリュームを調整しながら吹き口から息を入れて演奏してください。

(PCに接続すると、PCへのMIDI入力モード(USB-MIDI) になり、本体からは音が出ません)
ファンクションボタンを押すと演奏モードをに切り替える事ができます。



ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すと、下記のように演奏モードが切り替わります。最後の項目の次は最初に戻ります。

単体動作モード (PCに接続しない。MIDI 出力は TRS/MIDI 端子から)

内蔵音源 (リップセンサーなし) → 内蔵音源 (リップセンサーあり) → MIDI 出力 (リップセンサーなし) → MIDI 出力 (リップセンサーあり)

※ リップセンサーの使用方法については、サックスの演奏に似たような唼え方でお客様で工夫して吹いてください。慣れが必要です。

USB-MIDI モード (PCに接続)

MIDI 出力 (リップセンサーなし) → MIDI 出力 (リップセンサーあり)

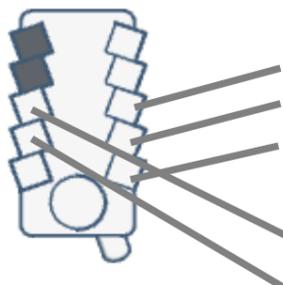
※ Windows10 PC でのみ動作確認しています。Mac では動作するか不明です。

ファンクションボタンの近くにある LED が緑色の時はリップセンサーなしで動作しています。

赤色～青色 の時はリップセンサーありで動作しています。バンドダウン中に青色になります。

MIDI 出力かどうかは見た目ではわからないので、吹いてスピーカーから鳴らなければヘッドホン出力か、MIDI 出力になっているはずです。

内蔵音源での各種設定



#キーとbキーを同時に押しながら下記のキーを押す事で音色変更と、トランスポーズ(移調)ができます。

Dキー	トランスポーズ -1 (MIDI 出力時も機能します)
Eキー	トランスポーズ +1 (MIDI 出力時も機能します)
Fキー	音色変更 (記憶され次回起動時にも同じ音色で開始します) ※ MIDI 出力時は別操作となります。下の記述を参照ください。
Gキー	ローパスQ値の強さ変更 (5刻みで 0~25、0がデフォルト)
Aキー	ブレス感度変更 (50刻みで 350~100、200がデフォルト)
オクターブダウンキー	基準音変更 (440Hz → 442Hz → 438Hz)
オクターブアップキー	ディレイ変更 (中 → 強 → OFF)

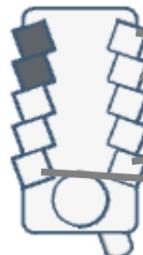
MIDI 出力時の各種設定

MIDI 出力には、単体動作モード (PCに接続しない=TRS/MIDI端子から出力) と、 USB-MIDI モード (PCに接続し、PC の MIDI 入力機器として動作) の 2つのモードがあります。これは起動時に PC と接続されているかどうかで変わります。どちらも操作は同じになります。

TRS/MIDI 端子と通常の MIDI 端子の接続には BOSS 製の BMIDI-5-35 ケーブルなどをご利用ください。

リップセンサーの有無については上記のファンクションボタンの欄をご覧ください。

MIDI 出力時は、内蔵音源時のトランスポーズ操作も使用できます。他にも、#キーとbキーを同時に押しながら下記の設定が行えます。



LowC キー	音色番号の 1 の位を押した回数で表現します。※
E♭キー	音色番号の 10 の位を押した回数で表現します。※
Fキー	音色変更を送信します。※
Bキー	ブレス出力方法を変更します。 (ブレスコントロール → エクスプレッション → アフタータッチ → メインボリューム → カットオフ)

※ E♭キーを 3 回押しして、LowC キーを 2 回押した後、F キーを押すと音色番号 32 番が送信されます。

仕様により 100 番以降の音色には変更できません。

リセット

ファンクションボタンを 10秒 押し続けると全ての変更が出荷時設定に戻ります。

お問い合わせ

不明な点や、ご相談事、ご要望などございましたら、どうぞ遠慮なく下記まで連絡ください。

Mail : otoone.dev@gmail.com

X(Twitter) : @OtooneDev